



新宿内藤とうがらしの加工品を
お買い求めいただけます



東京野菜 & TOKYO

採れたて新鮮！東京都のお野菜

今田新聞店の**八百屋さん**

毎週

月・水・金曜日 (祝日はお休み)

10:00～13:00 (売り切れ次第終了)

場所: 今田新聞店前(百人町1丁目)



東京都内の畑で収穫された旬の野菜の販売です。お野菜で季節を感じることができます。

畑から近いからこそよくわかる、採れたて新鮮な野菜を見に来てください。

お問い合わせ先

株式会社今田新聞店

販売 東京野菜スタイル/江戸屋

職安通りと小滝橋通りの交差点から淀橋市場(中野方面)の方向へ50mほど進んだ右側にあります。向かい側が三菱東京UFJ銀行大久保支店、コンビニエンスストアのサンクスです。



今田新聞店の八百屋さん

サンクス
三菱東京UFJ銀行
春山外科病院
職安通り
小滝橋通り
大久保駅・南口
←新宿駅



新宿内藤とうがらし
江戸東京野菜もごさいます

新宿区百人町 1-23-2
電話 03-3371-7810

<http://www.nsn-shinjuku.com/>

今田新聞店

検索

「NSN新宿・今田新聞店トップページ」をクリック！！

内藤とうがらし苗

育てよう！真っ赤な実を

伝統の江戸東京野菜 “内藤とうがらし”

日時：2016年4月29日（金祝）～5月8日（日）

午前9時～午後4時

場所：新宿御苑

インフォメーションセンター前広場

レストランゆりのき隣接特設テント

苗販売/江戸東京野菜市開催/内藤とうがらし歴史・文化

展示/内藤とうがらし加工品販売/オリジナルメニュー販売

※都合により、内容が変更となる場合がございます。

内藤家下屋敷（現・新宿御苑）で生産されていた

内藤とうがらしは、当時のそば人気とあいまって、

江戸中の評判だった。

江戸中に「内藤とうがらし」が評判になると、

内藤新宿宿場近辺の農村地帯でも唐辛子の生産が

活発になり、「新宿から大久保へかけて真っ赤な絨毯をしきしめた光景」といわれるほど

地域ブランドとして「内藤とうがらし」が定着していたようです。

（新編武蔵風土記、武江産物史、守貞漫稿、新宿の伝説口碑などより参考）



2008年より江戸の歴史を研究、「とうがらし史」を編集、

内藤とうがらしの種を復活させ、内藤とうがらしをブランド化。

<問合先>内藤とうがらしプロジェクト E-mail:edoya@nalnet.jp FAX:03-5827-2018

内藤とうがらしプロジェクト

検索



江戸東京野菜

主催：一般財団法人国民公園協会新宿御苑、内藤とうがらしプロジェクト

共催：環境省新宿御苑管理事務所 後援：新宿区